第7期中期経営計画および2023年度事業計画

2023年度は、第7期中計の最終年度として、各戦略の進捗状況を踏まえ中計策定当初に描いためざす姿を追求していく年度となります。すなわち、真に会員に「お役立ち」できる取組みを展開し会員に必要とされる金庫、めざすべき姿の明確化と全職員への浸透によりさらなる「お役立ち」を生みだすことのできる金庫、1人の組合員にとどまらず世帯全体に寄り添い「お役立ち」できる金庫を実現させることが第7期中計の達成につながります。これらを実現させ、第7期中計を完遂させるべく各取組みを進めてまいります。

第7期中期経営計画の全体像

外部環境認識

政治的環境要因
- 金融緩和政策長期化
- 金融庁「金融行政方針」「経営理念の確立」
- 窓口営業時間柔軟化

経済的環境要因
- 米中対立
- 新型コロナウイルス感染拡大による影響

技術的環境要因
- FinTechの台頭
- ネットチャネルによるローン取引拡大

社会的環境要因
- 人口減少・少子高齢化
- 生活スタイル多様化
- 経済格差拡大
- SDGs（持続可能な開発目標）

市場環境要因
- リテール分野の競争激化

競合の動向

内部環境認識

- 無担保ローン新規実行額は計画未達となったが統合後最高水準
- 営業力の強化に取組んでいるが、金庫全体のものになっておらずさらなる浸透が必要
- 借換実績は各年度の計画を概ね達成
- 取組みが融資を中心とした可処分所得向上に止まっており、間接構成員の資産形成へのアプローチに課題を残す
- 融資新規実績の好調と経費削減により短期的な収益力の改善は図られたが、今後の外部環境が不透明ななか、いかに「持続可能なビジネスモデル」を構築するかが課題

めざす姿と現状のギャップ

- 推進委員会の参加率・取組み内容に濃淡がある
- 会員の抱える課題を解決する観点からの取組みが十分ではない
- 中国ろうきんならではのブランドが明確となっていない
- ブランド確立につながる行動が共有されていない
- ご家族との接点が確保されていない
- ご家族全体の資産形成に向けたアプローチが十分ではない

第7期中期経営計画のスローガン

全力！ お役立ち宣言 !!

— 伝えます〈ろうきん〉 だからできること —

基本方針

1. 会員・間接構成員とそのご家族へ「期待に応えるお役立ち」を提供します。
2. IT化と業務の本部集中化による渉外体制充実と、コンサルティング機能が発揮できる人材育成に取組みます。
3. 収益とリスク、自己資本のバランスを取りながら、健全性を保ちつつ適正な収益確保をめざします。

めざす姿

「対面」による「人」と「人」の繋がりを通して「心」と「心」の結びつきを大切に会員間接構成員のみなさまとそのご家族の期待に応えてお役に立てる姿

- 会員と運動を共有し多くの会員から共感を集める金融機関
- ろうきん運動が活発に展開されている姿

- 中国ろうきんブランドが間接構成員へ認知されている姿

- 間接構成員のご家族全体のしあわせに貢献できる姿

計数計画	第7期中期経営計画
預金残高増加額	150億円以上 / 年度
有担保ローン新規実行額	650億円以上 / 年度
無担保ローン新規実行額	230億円以上 / 年度
カードローン残高増加額	20億円以上 / 年度

全体戦略

会員へのお役立ち	会員の声を聴き、会員が抱える課題の解決に資する施策を展開することで『共感』を集め、ろうきん運動の活性化に寄与します。
間接構成員へのお役立ち	めざすべき姿の明確化と組織全体への浸透を図り、会員間接構成員に『共感』いただける金融機関をめざします。
間接構成員のご家族へのお役立ち	間接構成員のご家族との接点を広げ、可処分所得向上と生活設計に資するご提案により家計の最適化を図ります。

機能戦略

営業戦略	お客さまが最も必要とする商品・サービスを提供するため、「顔の見える活動」の実践として行動量を増やし、情報を収集します。また、「コンサルティング機能の発揮」として顕在化したニーズの把握に加えて、潜在的ニーズの掘り起こしに努めます。
業務・IT戦略	ITの活用と業務の本部集中化により、利便性向上と業務効率化を図ります。
店舗戦略	会員との連携の拠点となる店舗網の維持を基本としたうえで渉外体制の充実を図ります。
人事戦略	全体戦略を実現するための職員を育成するため、人材育成計画に沿った取組みを着実に実施します。

基盤戦略

配当政策	業績連動型の配当基準を新設し、会員の利用分量に応じて配分する利用配当を重視した配当を行います。
RAFの効果的運用	リスク・リターンのモニタリング・分析を行い、事業計画の達成状況を検証し、収益・リスク・自己資本の最適化をめざします。
普段着のコンプライアンスの定着・浸透	勤労者に信頼され、選ばれる金融機関をめざし、コンプライアンスが定着・浸透した職場風土を構築します。

2023年度事業計画具体策

概要		項目	具体策
全体戦略(1) 会員へのお役立ち	会員の声を聴き、会員が抱える課題の解決に資する施策を展開することで『共感』を集め、ろうきん運動の活性化に寄与します。	①推進委員会の参加率向上と会員の課題解決につながる取組みの全店展開	・推進機構との課題解決に向けた意見交換の実施と交流の促進 ・中国ろうきん運動推進アドバイザーの活動を通じた会員等の課題解決 ・Webを活用した推進委員会への参加率向上
全体戦略(2) 間接構成員へのお役立ち	めざすべき姿の明確化と組織全体への浸透を図り、会員間接構成員に『共感』いただける金融機関をめざします。	②ブランドの確立と行動の共有	・CSアンケート調査の運用開始 ・行動指針のテスト運用と本格実践
		③生涯にわたるお役立ち (住宅ローン利用者との接点拡大)	・住宅ローン利用者アンケートの接点拡大策展開によるニーズ喚起 ・住宅ローン利用者専用フリーローンの利用拡大
		④生涯にわたるお役立ち (高齢者層へのアプローチ強化)	・中国ろうきん友の会との連携強化
		⑤会員・利用者と社会貢献団体をつなぐ施策	・「ろうきんを利用することで社会に貢献できる仕組み」の周知と利用拡大 ・NPO寄付システムの利用拡大 ・NPO中間支援団体等との連携強化
		⑥SDGsに向けた取組み	・ディスクロージャー誌、各種広告媒体における情報発信 ・労金職員へのSDGs教育
全体戦略(3) 間接構成員のご家族へのお役立ち	間接構成員のご家族との接点を広げ、可処分所得向上と生活設計に資するご提案により家計の最適化を図ります。	⑦間接構成員のご家族との接点拡大	・世帯取引拡大に向けた施策の展開 ・ご家族との接点拡大に繋がる施策の展開 ・推進機構・会員と連携した家族との接点拡大 ・世帯へ直接届ける暮らしに役立つ情報の提供
		⑧家計の見直し運動の進化と資産形成	・間接構成員の金融リテラシー向上に資する取組み展開 ・ライフプランに応じた資産形成の提案活動の実施 ・会員と連携した家計の見直し運動の展開 ・家計のサポート態勢の構築 ・接点拡大強化による効率的、効果的なニーズ喚起の展開
		⑨女性の利用拡大	女性応援プロジェクト「ろうきんRaseek」による施策検討・展開 ①ラウンドテーブル参加者と女性応援プロジェクト「ろうきんRaseek」との連携 ②Webサイト「ろうきんRaseek」を通じた情報発信と子育てに関する情報提供の実践 ③女性のニーズに応じたセミナーの企画 ④社会貢献に関する施策の展開 ⑤女性取引を通じた世帯取引拡大に繋がる施策の展開
		⑩会員と連携したご家族のつながりを大切にする施策	・家族参加型企画の実施 ・ご家族を対象としたセミナーの実施

概要		項目	具体策
機能戦略（1） 営業戦略	お客さまが最も必要とする商品・サービスを提供するため、「顔の見える活動」の実践として行動量を増やし、情報を収集します。また、「コンサルティング機能の発揮」として顕在化したニーズの把握に加えて、潜在的ニーズの掘り起こしに努めます。	⑪顔の見える活動	・渉外行動の全店平準化 ・Web活用による相談態勢の展開
		⑫コンサルティング機能の発揮	・お役立ちヒアリング（注1）の実践によるニーズ把握とニーズ喚起 ・金融円滑化の取組強化
		⑬渉外活動の高度化、顧客・案件管理の徹底	・情報収集から有効な将来見込み顧客案件につなげる態勢構築 ・営業力強化の全店スタンダード化
機能戦略（2） 業務・IT戦略	ITの活用と業務の本部集中化により、利便性向上と業務効率化を図ります。	⑭営業力の強化	・投資信託・保険販売における事務堅確化と事後フォロー体制整備 ・タブレットの効果的活用 ・QR伝票作成システム（注2）の活用促進
		⑮会員・利用者ニーズの実現	・無通帳型口座の促進 ・キャッシュレス化の推進 ・AI-OCR（注3）の活用 ・インターネットバンキングの利用促進
		⑯業務・事務改革	・営業店業務のRPA（注4）化 ・ペーパーレス会議の拡大 ・テレワークのあり方の検討 ・融資申込書類の「ペーパーレス化」
		⑰IT統制が機能する組織体制	・システム課題の一元的な管理体制の構築
		⑱情報セキュリティ対策強化・IT人材の確保と育成	・システムのセキュリティリスク軽減および運用管理効率化 ・庫内IT人材育成と外部リソースの活用
機能戦略（3） 店舗戦略	会員との連携の拠点となる店舗網の維持を基本としたうえで渉外体制の充実を図ります。	⑲渉外体制の充実	・渉外体制の充実に向けた取組み ・少人数でも運営可能な店舗体制の構築 ・内部事務の省力化と効率化
		⑳将来的な店舗機能	・将来的な店舗のあり方の検討および明確化 ・鋼管町支店のサテライト（注5）化の実施 ・第7期中計期間中に予定する自動機関連対応の完遂
		㉑県営業本部の組織改編（名称変更を含む）	・鳥取・島根両県の県営業本部一体化および各営業本部の名称変更
機能戦略（4） 人事戦略	全体戦略を実現するための職員を育成するため、人材育成計画に沿った取組みを着実に実施します。	㉒基本業務の習得	・自己啓発の環境整備 ・各種情報発信による営業店のOJTの促進 ・庫内研修内容の充実
		㉓コンサルティング機能の発揮	・FP1級資格取得・提案力の向上を目的とした研修等の実施 ・求められる「ろうきん職員」育成に資する体系的研修の実施
		㉔組合運動・ろうきん運動の基礎的理解	・中国ろうきん運動推進アドバイザーと連携した体系的教育の構築
		㉕職位に応じた研修	・人材育成やマネジメントを重視した新任役席者研修の実施 ・次世代の役席育成のためのステップアップ研修等の実施

（注1）お役立ちヒアリングとは、お客さまの車・住まい・家族・暮し・財布のヒアリングによりニーズ把握・喚起を行うこと。
（注2）QR伝票作成システムとは、パソコンで伝票を作成できるサービス。伝票の手書き作成が不要となり、取引情報の保存・再利用等ができる。
（注3）AI-OCRとは、紙文書に記載された文字を認識してデジタル化するOCRの技術と、認識率を向上させるためAI（人工知能）を融合させた技術。手書きによる帳票の内容をデータ入力する作業を省力化。
（注4）RPAとは、ロボティック・プロセス・オートメーションの略。ルールエンジン、機械学習、人工知能などの認知技術を活用した、オフィス業務の効率化や自動化に向けた取組み。
（注5）母店・サテライト店制度は、フルバンクサービスを提供する母店と機能を特化したサテライト店を1つのグループとする店舗体制。

<table>
<tr><th colspan="2">概要</th><th>項目</th><th>具体策</th></tr>
<tr><td>基盤戦略(1)

配当政策</td><td>業績連動型の配当基準を新設し、会員の利用分量に応じて配分する利用配当を重視した配当を行います。</td><td>㉖業績連動型配当の実行</td><td>・第8期中計における配当政策のあり方の検討および策定
【参考】第7期中期経営計画中の配当基準
■出資配当：市場金利や株式配当利回り等を参考に設定する（当面は現状の2%：140百万円を維持する）
■利用配当：
<table>
<tr><td>ROA（注7）</td><td>0.25%以上</td><td>0.10%以上0.25%未満</td><td>0.10%未満</td></tr>
<tr><td>利用配当</td><td>240百万円</td><td>170百万円</td><td>配当性向80%水準または100百万円のいずれか低い方</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>基盤戦略(2)

RAFの効果的運用</td><td>リスク・リターンのモニタリング・分析を行い、事業計画の達成状況を検証し、収益・リスク・自己資本の最適化をめざします。</td><td>㉗RAF（注6）の効果的運用</td><td>・関連会議の活性化によるRAFの効果的な運用および定着化
・事業計画・経営計画等の達成に向けた適切なリスクコントロール
・リスクモニタリング状況に応じた対策の検討・実施</td></tr>
<tr><td>基盤戦略(3)

普段着のコンプライアンス</td><td>勤労者に信頼され、選ばれる金融機関をめざし、コンプライアンスが定着・浸透した職場風土を構築します。</td><td>㉘普段着のコンプライアンスの定着・浸透</td><td>・不祥事件再発防止策の進捗状況の管理および報告
・職場のコンプライアンス状況把握と不祥事件未然防止のためのアンケート実施
・営業店モニタリングによるコンプライアンス態勢の把握と結果に基づく営業店指導
・コンプライアンス意識の醸成を図る職場内研修の実施</td></tr>
<tr><td rowspan="7">その他</td><td rowspan="7">20周年記念事業</td><td>(1) 記念イベント・キャンペーン</td><td>・営業店と推進委員会による記念セレモニーおよび記念イベントの実施
・地区友の会への活動助成
・学童野球決勝大会を第20回記念大会として開催</td></tr>
<tr><td>(2) 記念キャンペーン</td><td>・会員・ご利用者への還元策の「ロッキーチャンス」を、女性応援プロジェクト「ろうきんRaseek」との共同企画として実施</td></tr>
<tr><td>(3) 社会貢献活動</td><td>・社会的な役割を発揮している社会貢献団体への支援を通じて、地域への「感謝」の思いを伝える</td></tr>
<tr><td>(4) 女性応援プロジェクト</td><td>・女性応援プロジェクト「ろうきんRaseek」が中心となり、家族参加型の20周年記念イベントを実施</td></tr>
<tr><td>(5) 記念式典</td><td>・第20回通常総会後に記念式典を開催</td></tr>
<tr><td>(6) 職員意識高揚施策</td><td>・各県ごとに、職員エンゲージメントを高める施策を展開</td></tr>
<tr><td>(7) 記念パンフレット</td><td>・20年のあゆみを中心とする記念パンフレットを作成</td></tr>
</table>

（注6）RAFとは、リスク・アペタイト・フレームワークの略。予算計画策定、予実管理、業績評価という経営管理サイクルにおいて、常にリスク・アペタイト（どのような業務に取組んで、どのようなリスクを、どれだけ、またどのようにとり、どのくらいの収益をあげるかに関する中長期的な指針）を意識した管理を行う枠組み。
（注7）ROAとは、総資産利益率。事業体の総資産を利用してどれだけの利益をあげられたかを示す効率性、収益性を示す指標。当該配当基準における算出式は（税引前当期利益）÷（総資産−債務保証見返）［平均残高］とし、該当年度の12月末時点での期末見込みをもとに算出する。

2023年度事業計画におけるリスク・アペタイト

当金庫では、「リスク・アペタイト・フレームワーク（ＲＡＦ）」を2020年度より導入し、事業計画を達成するために取得するリスクの種類・数量を明確にしたうえで、リスクテイクと収益、自己資本のバランスを取りながら、健全性を保ちつつ適正な収益確保をめざします。

これらの取組みを明文化したものを「リスク・アペタイト・ステートメント（ＲＡＳ）」にとりまとめ、以下のとおり定めます。

2023年度においては、「めざすべき利益水準」（税引前当期純利益：16億円、ＲＯＡ0.10％以上）を達成しつつ、自己資本比率の一定水準維持（2023年度末基準：7.8％以上）をめざして「市場リスク（金利リスク）」、「信用リスク（与信）」「信用リスク（市場）」にリスク・アペタイト（注１）を設定して管理します。

1．ＲＡＦ運営の基本方針

協同組織金融機関として、会員・利用者へ最適なサービス提供するとともに、事業計画達成のために必要なリスク管理を行うなかで、そこから生み出される適正な収益によるリスク・リターンのモニタリング・分析を行い、事業計画の達成状況を検証し、収益とリスクの最適化をめざします。

また、ＲＡＦの実効性を確保するために、関係部門での定期的な協議を実施してリスク・アペタイトの検証を行い、不測の事態に備えた態勢を整えます。

2．リスク・アペタイト指針

ろうきんの理念「ろうきんは誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます」を実現するために、会員の皆さまに安心していただける健全性を保ちつつ、適度なリスクをとって必要な範囲で収益を高め、健全経営に努めます。

3．リスク・アペタイト方針

計数計画によるボリュームを維持しつつ、配当政策で掲げる第7期中期経営計画期間中の「ＲＯＡ0.10％以上」を最優先目標とします。あわせて、めざすべき利益（税引前当期純利益16億円）を確保するため、事業計画の達成に向けた内部管理を行い、未達または超過することが見込まれる場合は、具体的な対策を検討することで「持続可能なビジネスモデル」の構築および収益・リスク・自己資本の最適化をめざします。

市場リスクについては、運用（貸出金・余裕資金）と調達（預金）のバランスを考慮しながら、金利リスクを適切にコントロールします。

与信信用リスクについては、審査受付段階の情報収集・カウンセリング能力の向上により、家計収支や取引実績、ライフプラン等から総合的な与信判断を行うとともに、事後管理の早期対応・徹底により資産の健全化を図ります。

市場信用リスクについては、有価証券新規投資分のリスク・ウエイトを適切にコントロールします。

4．リスク・アペタイトの指標

「リスク・アペタイト方針」の実現と管理を目的とした指標を以下のとおり定め、取組みを展開します。

（1）リスク・アペタイト指標（ＫＲＩ）（注２）

区分		リスク・アペタイト指標	
市場リスク	金利リスク	⊿EVE（注３）	260億円以下
信用リスク	与信信用リスク	日信協無担保ローン年間代位弁済額	3.85億円以下
	市場信用リスク	有価証券新規投資分の平均リスク・ウェイト	40％～70％

（2）関連指標（ＫＰＩ）（注４）

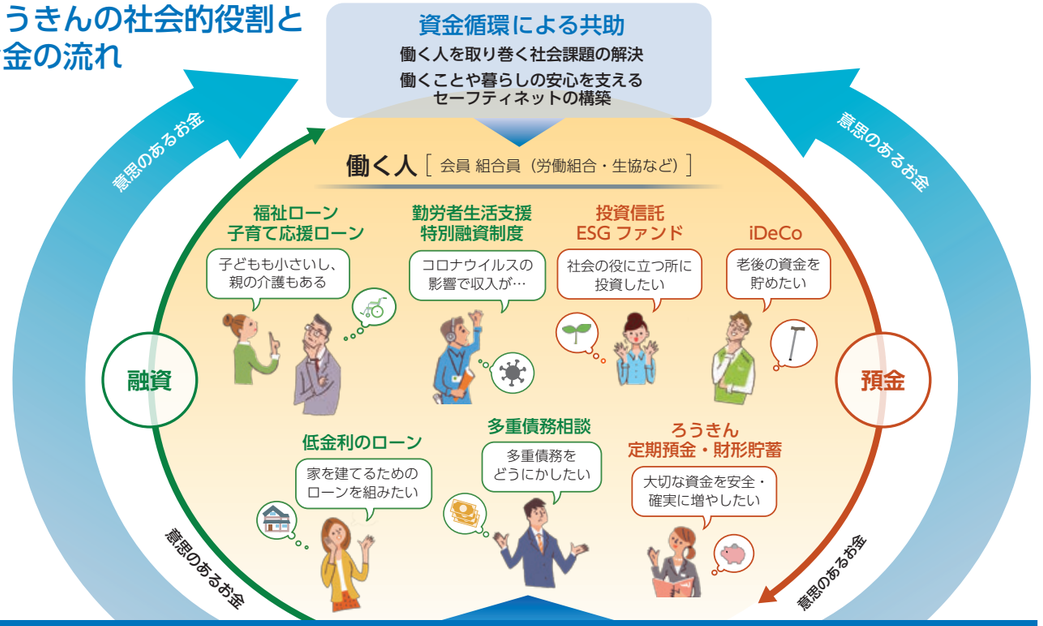
項目		2023年度（計画）
健全性	自己資本比率	8.28％
収益性	税引前当期純利益	2,131百万円
成長性	ＲＯＡ（注５）	0.15％

（注１）リスク・アペタイトとは、事業計画達成のために進んで受け入れるリスクの種類や水準をいいます。
（注２）重要リスク指標。リスク・アペタイトとして設定するリスクの種類と水準をさします。
（注３）⊿EVEとは、金利水準の変動による銀行勘定の資産・負債の経済価値変化額を示しています。
（注４）重要業績評価指標。組織の目標達成度合いを定義する補助となる計量基準群であり、ＲＡＦでは主に財務に係わるリスク・アペタイトでのリターン指標をさします。
（注５）保有する資産を使ってどれだけ本業の収益を上げたかを示す指標です。

中国ろうきんのSDGs達成に向けた取組み

ろうきんの設立経過や「ろうきん理念」はSDGsのスローガンである「誰一人取り残されない」、すべての人々が必要な金融サービスにアクセスでき利用できる状況をめざす「金融包摂」と合致するものです。これからもろうきん運動を推進し、SDGs17ゴールの達成に向けて取組みます。

ろうきんの社会的役割とお金の流れ



ろうきん
全国 13 金庫
605 店舗
（2023 年 3 月末現在）

ろうきんの社会的役割
ろうきんは、労働組合や生協などの働く仲間がお互いを助け合うために資金を出し合ってつくった、協同組織の金融機関です。お預かりした資金は、大切な共有財産として、住宅・教育・マイカーなど働く仲間とその家族のくらしを守り、より豊かにするために役立てられています。

○SDGsとは

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。「貧困をなくそう」や「飢餓をゼロに」など17のゴールと、そのゴールごとに設定された169のターゲット（個別目標）で構成されています。世界的にその重要性が認識され、日本でもその積極的な推進が期待されています。

ろうきんＳＤＧｓ行動指針

■〈ろうきん〉は、「ろうきんの理念」とそれを実現するための「ろうきんビジョン」に基づき、勤労者のための非営利の協同組織金融機関として、勤労者の生涯にわたる生活向上のサポートに取組んでいます。〈ろうきん〉は、こうした活動をさらに強化・徹底し、勤労者を取り巻く様々な社会的課題の解決に取組むことを通じて、ＳＤＧｓの達成をめざします。

■〈ろうきん〉は、勤労者の大切な資金を、勤労者自身の生活向上のための融資や、社会や環境等に配慮したＥＳＧ投資などに役立てることを通じて、持続可能な社会の実現に資するお金の流れをつくりだしていきます。

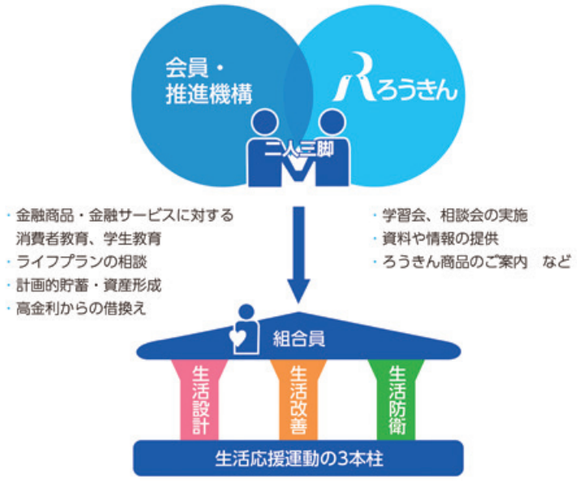
■〈ろうきん〉は、労働組合・生活協同組合などの会員や労働者福祉に関わる団体、協同組織・ＮＰＯ・社会福祉法人・社団・財団などの非営利・協同セクター、自治体などとのネットワークを強化し、連携して地域における福祉・教育・環境・自然災害などの社会的課題の解決に取組んでいきます。

■〈ろうきん〉は、ＳＤＧｓ達成に向けた様々な取組みやその成果を発信し、〈ろうきん〉を利用することがＳＤＧｓ推進につながっていくことを会員や勤労者など広く社会に伝えることにより、ＳＤＧｓ達成に向けた共感の輪を広げていきます。

金融事業を通じた取組み

■ 生活応援運動の取組み

勤労者の「生活設計」「生活防衛」「生活改善」を図っていく運動です。
〈ろうきん〉が会員・推進機構連携のもと、提案・アドバイスを行います。



■ 働く女性を応援する取組み

働く女性の生活応援策を展開するため、女性職員で構成する女性応援プロジェクト「ろうきんRaseek」を設置しています。女性の意見を取り入れた諸施策の検討・実施を進めており、プロジェクトで出された声から、女性の資産形成を応援する「女性応援ろうきんRaseek定期預金」や不妊治療費や不育症治療費を資金使途に追加し、愛称を設定した「福祉ローン『にじいろ』」の発売を開始いたしました。

■ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応

新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受ける勤労者に「勤労者生活支援特別融資制度」等を通じて、生活を支援しました。

	件数	金額
勤労者生活支援特別融資制度 (無担保・新規)	1,202件	1,506,630千円

(2022年度の利用実績)

社会貢献活動

地域・社会活動の取組み

NPO寄付システム	日本で唯一の非営利の福祉金融機関として、NPOを支えることが働く人とその家族、そしてだれもが安心して暮らせる地域社会づくりにつながると考え、このシステムを提供しています。寄付は毎月100円からの口座振替で手数料は不要です。集まった寄付金は中国各県で活動するNPOに寄付配分される「助け合い」のろうきんならではの地域循環型寄付システムです。
ろうきんを利用することで 社会に貢献できるしくみ	教育ローン等やカードローンのご利用内容、預かり資産(男性)のご契約に応じて中国5県の「いのちの電話」へ、セミナーの開催実績に応じて「社会貢献団体」に寄付を行っています。 また、女性応援プロジェクト「ろうきんRaseek」で出された声から、「お子さま預金」と学資積立「ドレミ協奏曲(コンチェルト)」および、預かり資産(女性)の新規契約実績に基づき、「ほほえみ基金」へ寄付する「ピンクリボン運動」へも参画しています。
「高校生のための消費者講座」への 講師派遣	中国4県の労働者福祉協議会および広島県労働会館が主催する「高校生のための消費者講座」へ講師を派遣しています。これから社会に出る高校生が、金融取引においてのトラブルや悪質商法の被害に遭わないために、「自立した賢い消費者」になっていただくよう支援しています。
中国ろうきん杯学童軟式 野球選手権大会の開催	中国地区軟式野球連盟と中国労働金庫の共催により、野球を通じて新しい時代を担う少年少女の健全な身体を育成し、広く地域社会に奉仕することを目的に毎年開催しています。
確定申告書作成 セミナーの開催	退職者や中国ろうきん友の会会員のみなさまを対象として、毎年「確定申告書作成セミナー」を開催しています。セミナーには中国税理士会所属の税理士を招き、専門家から直接学び、それぞれご自身の確定申告書を作成していただきます。お客さまの生涯にわたり金融面でサポートするために取組んでいます。

環境・気候変動等に関する取組み

ろうきん森の学校	労働金庫の中央金融機関である労働金庫連合会は、豊かな森の再生と環境問題に取組む人材育成をめざして2005年10月に「ろうきん森の学校」を全国3地区(富士山、福島、広島)に開校し、2015年4月より新たに新潟と岐阜の2地区が加わりました。中国労働金庫のエリア内では広島市の「NPO法人 ひろしま自然学校」が事業を展開しています。
環境保護の取組み	人々が未来にわたり、喜びを持って、共生できる自然と調和した社会を実現するため、全役職員が環境に対する高い意識を持ち、地球環境の保全活動に会員、地域のみなさまとともに積極的かつ継続的に取り組むことを環境理念とし、電力・ガソリン消費の抑制や環境保全に配慮した商品・サービスの提供を行っています。

ESG債への投資

ESG債への投資	投資を通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、環境分野や社会課題への対応を目的に発行されるESG債へ投資しました。

〈2022年度 ESG債への投資実績〉

ESG債の種類	銘柄名	投資時期
トランジションボンド	第15回　出光興産社債	2022年7月
グリーンボンド	広島県令和4年度第7回公募公債	2023年2月

雇用環境に関する取組み

多様な人材の活躍に向けた 環境整備	中国労働金庫で働く全ての職員が活躍できる職場環境を構築するため、仕事と子育ての両立支援に向けた取組みや、性別に関わらず働きやすい職場環境の構築に向けた取組み等を行っています。2020年4月に、広島労働局より子育てサポート企業として「くるみん」の認定を受け2023年2月には2回目の認定を受けました。また2020年11月には、女性活躍推進に関する状況が優良な企業に与えられる「えるぼし(2段階目)」の認定を受けました。